



BreastScreen
Aotearoa

日本語 (Japanese)

検診後

TimeToBreastScreen.nz

BreastScreen Aotearoaプログラムを受診していただきありがとうございました。 今後の流れを以下にご説明します。

検査で撮影された画像は、放射線科医2名（マンモグラフィ読影専門医）が慎重に診断します。過去の検診結果が保存されている場合は、それと比較して変化がないかどうかを確認します。

結果は3週間以内に受診者本人へ直接お伝えします。検査結果はかかりつけの医師やハウオリ医療関係者にも共有されますが、それを希望しない方は検査時にお申し出ください。検査結果が届かない場合は無料ダイヤル（**0800 270 200**）までお問い合わせください。

次回の受診時期は、電子メール、SMS、郵送のいずれかで改めてお知らせします。記載された安全な個別リンクを使って予約してください。

ほとんどの場合、検診のご案内が届くのは2年後です。対象年齢の拡大により、プログラムに再加入した70～74歳の方については、状況に応じて検診のご案内が送付されます。

70歳以上の方の受診については、**TimeToBreastScreen.nz**で詳細をご確認ください。





乳がんの早期発見によって治療で体にかかる負担も軽減できるため、定期的に検診を受けることが重要になります。

マンモグラフィの画像に気になる部分が見られた場合、精密検査が必要になり、改めて詳しい説明があります。要精密検査となっても、実際に乳がんであるとは限りません。さらに情報を集めて、適切な診断を下す必要があるというだけです。

あなたの選択肢

定期的に乳がん検診を受診するかどうかは一人ひとりの判断に任せ、いつでも登録抹消できるだけでなく、加入条件を満たす間はいつでも再加入できます。

乳がん検診プログラムに未加入でも、マンモグラフィ検査を受診することはできますが、費用は自己負担になることもあり、検査結果がBreastScreen Aotearoaの記録に残されることもありません。

最良のケアをお届けすることが、BreastScreen Aotearoaプログラムの責務です。受診時に不快な思いをした、あるいは不満な点があったという方は、ぜひお知らせください。より多くの女性に乳がん検診を定期的に受診していただくため、サービスの改善に努めてまいります。

受診者の権利については、hdc.org.nz/your-rightsで詳細をご確認ください。

ご注意ください

- マンモグラフィ検査は乳がんを予防するものではありませんが、病変を発見できます。
- マンモグラフィ検査の受診時に存在するほとんどのがん細胞を発見することができ、見逃し率は約10%です。

乳がんの前兆として見られる例：

- 胸や脇の下に今までになかったしこりがある
- 胸の形やサイズの変化
- 乳房の皮膚の変化(くぼみ、ひきつれ、肥厚)
- 乳首の変化(陥没、ただれ、今までにないかゆみ)
- 乳首からの分泌物または出血
- 消えない赤み
- 痛みが続く

これらは必ずしも乳がんの前兆とは限りませんが、いつもと違うなと感じたら、直ちにかかりつけの医療機関で診察を受けることが大切です。

本日の検診で痛みを感じた方は、次回の検診まで待たずに BreastScreen Aotearoa の職員へお知らせください。
次回の検診がより快適になるよう善処します。

本日の検診に関するご意見ご感想をお寄せください。また、近い方々にも本プログラムへの加入を勧めていただければ幸いです。
2年後にまたお会いしましょう。



Scan the QR code to access available translations of BSA brochures into languages other than English and formats including Braille, audio, Large Print, Easy Read and NZSL.



**BreastScreen
Aotearoa**

Health New Zealand
Te Whatu Ora

Te Kāwanatanga o Aotearoa
New Zealand Government

This resource is available from **healthed.govt.nz** or your local Authorised Provider. Revised September 2026. **HE10117-JPN**